

春風秋霜 10月号

令和元年10月1日
島田市教育委員会日より
教育長 濱田和彦

春風をもって人に接し、秋霜をもって自らを慎む 佐藤一斎

1 金谷中学校弓道部の全国制覇について

9月13日(金)に金谷中学校弓道部が、市長に女子団体全国優勝の報告をしました。金谷中学校の弓道部の全国大会出場は何回もありますが、優勝は初めてだそうです。しかも、優勝だけでなく技能優秀賞(最も所作等の素晴らしい学校)も合わせて受賞するという快挙を成し遂げています。

これまでも、多くの学校や個人が全国大会や世界大会に出場しています。近年、その数は増加傾向にあり、大変喜ばしいことです。地区大会を勝ち抜くだけでも大変なのに、全国大会出場常連校となるための努力は、相当のものだったと思います。

大会結果をみると、どの試合も接戦を制したものでした。精神状態が大きく結果に影響するといわれる弓道において、安定した射を可能にしたのは、高い集中力と目的意識がはっきりしていたからだと思います。このような経験は、きっとこれからの生き方に活かされると信じています。

2 9月議会一般質問から

河村議員と藤本議員からは統合問題について、斉藤議員からは統合する学校の跡地活用について、横山議員からはスマートフォンの使用について、桜井議員からは嘱託職員の任用について、森議員からはコミュニティ・スクールについて質問されました。

統合問題における子供たちや保護者の不安を少しでも軽減するためには、子供たち個々の実情に合わせた対応が求められると思います。丁寧な対応と情報発信が大切だと考えています。

スマホ使用については、不適切な書き込みや映像の拡散によって、大きな苦痛や思わぬ被害が心配されます。具体を示しながら繰り返しの指導が求められます。嘱託職員の任用については、基本的に会計年度任用職員に移行する予定です。校長会や職員団体からも支援員等の確保は強く求められているので、教育委員会としても最大限の努力をしているところですが、効果的な活用が求められます。

コミュニティ・スクールについては、新たな取組を開始するというより、夢育・地育の一環で行うという意識が必要だと思います。開かれた教育課程が求められますから、学校運営協議会から教育課程に対して意見をいただくことや、地域と学校がWin Winになるような取組が大切になると思います。新しく始まることへの不安はあると思いますが、学校間における情報共有を密にすることによって解決することは多いと考えていますので、よろしくをお願いします。

3 アイディア工作展表彰式に参加して

9月20日(金)に行われたアイディア工作展表彰式において、市長賞を受賞した大津小学校2年の杉本海君の海賊船は大きさが120cmをこえる大作でした。質感にこだわった装飾で紙製とは思えない出来栄でした。木目調の壁紙を張ったデッキや、組み合わせたブ

リンカップで作ったワイン樽、風船を使った空気砲など、親子で協力して仕上げた作品とはいえ、そのアイデアには感心させられました。

家族と話をする、帆の形を整えるために針金を通す穴は、父親がミシンを使って作ったそうです。デッキに使った壁紙は母親が探してきたそうです。家族の協力が市長賞につながったと思います。

牛尾副市長は挨拶の中で、「素敵なものの近くには素敵な人が居て、素敵な環境がある」と話していました。正に杉本君の家には、それが当てはまるなと思いました。現代にはさまざまなものが安価で手に入るために、自らの手でものを作り上げることは少なくなってきました。しかし、チャレンジし、失敗し、失敗を乗り越えることは、変化の激しい社会においては必要な資質ですし、手を器用に使うことも大切な力だと思います。これからも多くの子供たちがこの工作展に挑戦してくれることを願っています。



4 学校訪問から

9月20日（金）に学校訪問した第二中学校では、参観した授業の約半数が様々な教育機器を使っていました。ICTなどの活用が叫ばれている中で、このような積極的な姿勢をありがたく思いました。今年の12月には、全ての学校のパソコンがツインワン型になります。

これまで以上に多様な活用が可能になりますから、全ての教科で活用できると、授業改善も進むと思います。特に小学校では、来年度使用する教科書には、QRコードも記載され、情報の更なる活用が求められます。ICTの活用は、全教職員の課題として取り組んでいただきたいと思います。

肘かけ椅子

平松 栄浩 教育総務課長

「川根温泉いいところ」

最近、日曜日には川根温泉を利用することが非常に多くなりました。自宅から車で5分も走れば、そこには島田市自慢の川根温泉ふれあいの泉があります。平日も毎日のように駐車場は満車のようなのですが、休日も同様に殆ど駐車するスペースは残っていない状況です。

ぐるっと回り車を止めて、入浴券を購入し、浴場に向かい、1時間程温泉に浸り帰宅となります。いい時間です。比較的、ゆったりと湯船に浸ることができる、16時30分から17時30分がお勧めの時間となります。

露天風呂に入ると、毎回、見知らぬ顔の方達が幸せそうな顔をして、のんびりと時間を過ごしています。肩まで温泉に浸かり談笑する人、無言のまま一点を見つめて半身浴をしている人、子どもの世話を焼きながら楽しそうに過ごす父親。中には、温泉で知り合いになり家族との出来事を話す人や住んでいる地域の話をする人など様々ですが、小さな子どもからお年寄りまで裸でふれあう「川根温泉いいところだ」と本当に思える時間です。

温泉から帰宅すると、「笑点」を見ながら喉を潤します。暫くすると「は〜い！サザエです。」とテレビから流れてくる爽やかな声、その瞬間、何故か胸の奥がざわざわと…